



マネジメントニュース

今月号の
ニュース

1. 「ISO27001」の概要
その1
2. セミナーのご案内

当社ロゴマークの紹介



この度、弊社のロゴマークが出来上がりました。人との繋がりを大切に、これからも企業様のお役に立てる支援を目指して参ります。

ISO27001の概要 その1

今、なぜ情報を守る規格が必要か

(1) 企業の情報を守る事が急務

近年の企業活動の中で、最も注目されているのが企業の『情報資産』を守ることです。情報資産とは、企業で収集された情報やその情報を処理する為の施設などを指します。

具体的には以下のようなものが該当します。

< 情報資産の例 >

- 情報（データそのもの）
- ・ 顧客情報 ・ 取引情報
- ・ 財務情報 ・ 人事情報 など
- 情報処理施設など
- ・ 業務用ソフトウェア
- ・ ハードウェア
- ・ ネットワーク など
- その他文書、伝票なども含まれる

(2) 情報の活用

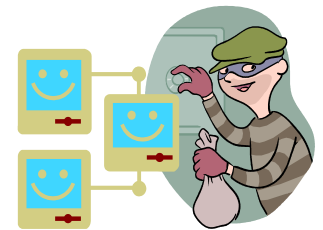
上記のような企業の情報資産は、お客様への配送やサービスに活用されたり、経営戦略の策定などに用いられたりしています。

また、情報処理施設などについては、企業の業務自体をスピーディに行うことや、より良いサービスを行う為に活用しています。

(3) 情報に関するセキュリティ事故

様々な情報を扱っている現代ですが、ひとたびその機能がストップしてしまうと、たちまち多大な損害を含む事故にも繋がってしまいま

す。ここで言う“事故”とは、システム障害、通信障害、不正アクセスを含む情報の漏えいなども指します。テレビや新聞紙上などで話題になっていることをご覧になったことがあると思います。



これが社会問題となるケースもあり、私たち消費者側からも、企業の『情報資産』を守る取組みは、企業を選ぶ場合の重要な要素となっています。

情報セキュリティマネジメント

システムの経緯

(1) ISMSとは

情報セキュリティの仕組みのことを、よく「ISMS」と表現しています。

Information (インフォメーション): 情報を

Security (セキュリティ): 安全に

Management (マネジメント): 管理する

System (システム): 仕組み

簡単に言えば、情報セキュリティとは情報を安全な状態にしておくことです。

(2) 「ISO/IEC 27001」

今回の「27001」の規格は、「ISO/IEC」となっています。

これはIEC（国際電気標準会議）とISO（国際標準化機構）との共通専門委員会で発行された国際規格のことです。

IECでは、「電気・電子工学」に関する分野の標準化を行い、ISOではそれ以外の分野を扱うこととなっていますが、今回のように共通で発行される規格も少なくはありません。

以下、「ISO27001」とします。

(3) 前身は「BS7799」の英国規格

ISO27001の前身は、英国で発行されている「BS7799-2(パート2)」をベースに作成されました。

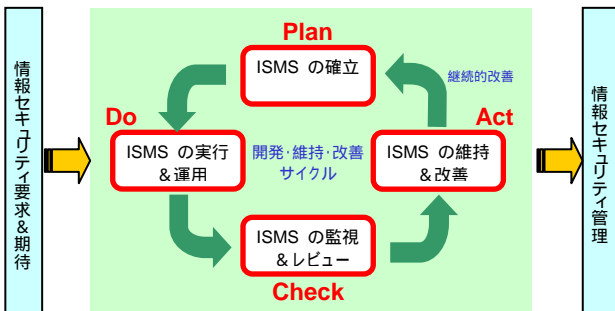
これは、組織が情報セキュリティを確保する為の規範を取りまとめた規格で、1995年にパート1が、1998年にパート2が発行されています。その後改訂が進み、2005年6月に現在のISO27001が発行されました。日本では、2006年5月に「JISQ27001」として発行されています。

ISO27001の全体像

(1) PDCAのマネジメントサイクル

ISO27001も、他のISOマネジメントシステム同様「P・D・C・A」のサイクルで運用します。

ISO27001では、「Plan:計画」、「Do:実行」、「Check:点検」、「Act:処置」のモデルを採用し、これを各プロセス全ての構築に適用することとしました。



(2) 規格の構成

ISO27001の規格は、以下のような構成になっています。

ISO/IEC27001:2005
(JISQ27001:2005)
情報セキュリティマネジメントシステム - 要求事項

ISO/IEC17799:2005
(JISQ27002:2006)
情報セキュリティマネジメントの実践のための規範

はマネジメントシステムに関する要求事項が記述されており、はそのマネジメントシステムの中で管理される項目ごとに、管理策の基準が示されています。

の管理策は全部で133項目あり、その中で自組織に適用するものを決めて運用していく事となります。

(3) 規格の内容

ISO27001の規格内容は以下の通りです。

4. 情報セキュリティマネジメントシステム	
4.1	一般要求事項
4.2	ISMSの確立及び運営管理
4.3	文書化に関する要求事項
5. 経営陣の責任	
5.1	経営陣のコミットメント
5.2	経営資源の運用管理
6. ISMSの内部監査	
7. ISMSのマネジメントレビュー	
7.1	一般
7.2	レビューへのインプット
7.3	レビューからのアウトプット
8. ISMSの改善	
8.1	継続的改善
8.2	是正処置
8.3	予防処置

< 次回内容 >

今回は、ISMS取得のメリットや、プライバシーマークとの違いなどについて掲載します。

セミナーのご案内

内部監査員養成講座開催のお知らせ
ISO14001 11月20日(月)、21日(火)

詳細は当社までお問い合わせ下さい。
株式会社マネジメントセンター
セミナー受付窓口(担当:大槻)
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672

㈱マネジメントセンターへの、ご意見、ご質問をFAX又はメールでお寄せ下さい!

FAX: 029-246-4672
Mail: info@isommc.com